

2013年7月号



Osaka Referee 強化育成通信

発行
 (一社)大阪府サッカー協会審判委員会
 強化育成部長 大原克則
 強化育成通信担当 神谷達平
 お問合せ 大阪府サッカー協会審判担当
 ofa-shimpan_jimu@peach.ocn.ne.jp

巻頭の言葉 (一社)大阪府サッカー協会 審判委員会 委員長 泉博

次回発行 10月予定

連日の猛暑の中、大阪のサッカーのためにお力添えをいただきありがとうございます。審判委員会では、試合数の激増に対応すべく実働審判員の増加とそのレベルアップを図っています。また、ユースや女性審判員の発掘と育成にも力を注いでいます。

審判員のみなさまには、日々研鑽を積んで、よりよいゲームコントロールができるようにしてほしいと願っています。そのために、審判委員会としてできる限りのサポートをしていきたいと考えています。

まだまだ暑い日が続くようです。大阪のすべての試合が、選手やチーム関係者、観客、そして審判員にとって清々しいゲームとなるようよろしくお願いいたします。



韓国・日本・中国国際 U-18 サッカー大会に参加して

●女子(7/6~11) (2級 近田智恵美氏)

毎年行われている日本・中国・韓国国際女子 U-18 サッカー大会が、今年は韓国の報恩郡で開催され、7月6~11日の間、帯同審判員として参加させていただきました。大会は、7/8~10日の3日間でした。今年は、例年にない盛り上がりだったとのことでTVにて試合が生中継されるなど盛大な歓迎を受けました。

今回韓国の派遣審判員は、6名全員が国際審判員、中国の方も1級審判員、その中で国内2級の私は、不安で大変緊張しましたが、主審2試合、副審1試合を無事に終えることができました。

特に最終日に主審を任命された韓国 U-18 選抜 A 対中国上海 U-18 選抜の試合は、今大会の結果を大きく左右する試合となり、ゲーム開始直後から、私にとっては、かなり厳しいゲームとなりましたが、不思議なほど副審の方々とアイコンタクトが取れ、十分にコミュニケーションも図れ、とても異国で審判をしているとは思えないほどでした。私自身も不思議なほど思い切りチャレンジすることができました。国内2級レベルの私が、国際審判に囲まれ主審をさせていただけたことは、大変貴重な経験となり、今後の審判活動においても大きな財産となりました。

また、今回、チームに帯同させていただき、一緒に過ごす中で、試合に向けて頑張っている選手や献身的に選手をサポートするスタッフの方々の姿をそばで拝見し、その試合を任される審判員の重大さを改めて感じました。チームの皆さんからもたくさんの勇気をいただき、3日間頑張ることができました。このような機会を与えていただき、大阪府サッカー協会の皆様には大変感謝しております。今回のことは、貴重な経験の一つとし、これからは謙虚に一つ一つの課題に取り組み、向上心を忘れず、頑張りたいと思います。



遠征での写真

左から2人目が近田氏

●男子(7/16~20) (2級 森周平氏)

7月16日~7月20日に韓国・蔚山にて行われた今大会に、帯同審判として参加させていただきました。海外で審判をするというのは初めてで、一つでも多くのことを吸収し、成長して日本に帰って来ようという気持ちで参加しました。

大会2日目、私は上海(中国)VS鶴城(韓国)の主審を担当させていただきました。1日目に両チームの試合を見ていたのですが、そこで感じたことが、球際のプレーがとても激しく、アフターもとても多いということだったので、最後まで目を切らないということが一番強く意識し、また、可能な限りプレーの近くで判定すること、どこで・誰が・どのようなファウルをする可能性があるのかを予測することを意識して試合に臨みました。案の定、試合の序盤から激しいプレーが続く、いくつかファウルを取り、前半10分のアフターに対して1枚目のイエローカードを出しました。このカードの効果なのか、その後もプレーは激しいものの、無謀なプレーはほとんどありませんでした。前半の比較的早い時間にカードの基準を示すことができた点は良かったと思います。ただ、プレーの近くには寄るものの、選手とぶつかってしまったり、パスコースに入ってしまうということが何度かあったので、ポジションを細かく修正することが今後の課題の一つであると感じました。

日本では経験したことのないような激しい試合でしたが、この試合ほどアフターに注意した試合は今までになく、アフターに対する注意力が付き、それを監視する為の動きを実践できたことが一番の収穫だったと思います。

最後になりましたが、このような経験をさせて下さった大阪府サッカー協会の皆様、また、大阪国体スタッフ・選手の方々、本当にありがとうございました。スタッフ・選手の皆様、大阪選抜の大会初優勝に私も帯同審判として関わったこと、本当に誇らしく感じています。感謝、申し上げます。この大会で得たことを今後の審判活動に活かし、更なる高みを目指します。

ユース審判研修会の報告

ユース審判員育成の研修会を実施しています。未来の大阪、関西そして日本を背負って立つ審判員が出てくることを期待しています！みんな、これからも頑張りましょう！！

●観戦研修会(6/23開催)

～大阪高校春季サッカー大会決勝リーグ～

34名のユース審判員が参加

J-GREEN 堺で行われたインターハイ予選決勝リーグを利用したユース審判観戦研修に参加させていただきました。現在3級審判を志していますが、研修に参加するのは4級取得後初めてでした。前から審判に興味はありましたが、やはりプレーの方が面白く、審判にはそんなには魅力を感じていませんでした。審判を志したのはある高校との練習試合で、その高校の同学年の3級資格を持つ生徒が主審を務め、堂々と凛々しくカッコ良い姿を目にしたからです。顧問の先生の勧めもあり、本格的に審判活動をしようと思いました。

今回の研修では大阪の高校のトップレベルの試合ということで、難しいレフェリングが予想されましたが、その緊迫感の中で試合前から試合後まで審判の行動に密着することができました。まず試合前に試合球の空気圧チェック、フィールドチェック、マッチミーティング、審判団の打ち合わせなどに同席させていただきましたが、すべて初めての経験で試合前にはこれだけ多くの準備が必要であることを知りました。そして高校生の試合であるのにも関わらず、多数の役員の方々が協力されていることにも驚きました。

試合は普段なら入場できない場所で観戦させていただきましたが、スタッフの方の説明付きなので、いつもと違った観点で試合を見ることができました。その後、主審・副審の方とビデオを使いながらのディスカッションをしましたが、審判の方々の苦労や難しさ、やりがいなどを教えていただくことができました。

今回の研修を通じて、「審判」というものを色々な角度から見ることができました。将来の選択肢の中にプロの審判も付け加えようかなと思いましたし、何より「審判」が好きになりました。最後になりますが、このような場を与えてくださいました大阪府サッカー協会の方々に感謝致します。

(登美丘2年 州戸健之くん)

●実技研修会(7/27開催)

～堺ユースサッカーフェスティバル～

14名のユース審判員が参加

・主審を1試合、副審を前半1試合させていただきとてもいい経験になりました。ありがとうございました。主審のときは、体力と集中力の面ですこしたりない部分がありました。この2点についてはこれから、トレーニング等でカバーしていきたいと思いました。試合の流れをもっと考えて、よりレフェリングできるようがんばります。

- ・楽しかったです。良い経験と勉強になりました。
- ・今日一日良い経験ができたと思います。以前より上手になったと思います。ありがとうございました。
- ・審判をやってからすぐに反省会をして、すぐに反省点などが出たので良い経験になりました。
- ・ほどよい緊張の中で初めてレフェリーをしました。他の審判員といっしょにできたことがよい経験になりました。



実技研修会での集合写真

後列右から4番目が登美丘高校の州戸くん

●強化研修会について(7/14開催) (2級 勝部健氏)

皆様、いつも大変お世話になっております。私は今回、7/14に2013年度第2回、強化研修会に参加させて頂きました。

その中で私の修正すべき点は多くあったのですが、最も印象に残っているものがあります。それは「選手のために。」という一つの目標に向かって、日々、審判活動を行っている仲間達に支えられているということを改めて実感し、嬉しく思いました。

森本インストラクターをはじめとして、この研修で審判団として協力してくれた方、強化育成部の方、試合を見ていて意見を伝えてくれた方など、他にも多くの方に支えられて、私は審判を行っています。それを改めて気づく事が出来ました。

皆様にこの場をお借りして、感謝の気持ちを伝えさせていただきます。



強化研修会での様子

強化育成部今後の予定

8/24(土)、25(日)

指導育成合宿研修会

9/8(日)

強化研修会(鶴見緑地)

9/19(木)

育成勉強会(大阪協会)

9/25(水)

南津守トレセン